

人生の第2ステージを豊かに有意義に暮らしたい

リフォーム大成功

嘘のよう!

暖房に頼らなくとも寒くない家

■ここは宮城県南K市。施主のTさんは昭和25年の生まれ。いわゆる団塊世代で永年勤めた自動車部品会社を2010年に定年退職した。これからは仲良し奥さんと二人、心身ともにリフレッシュして新しい人生の第2ステージに立ちたいと考え家のリフォームを計画、昨年11月、築26年経った住宅の改修工事を完成させた。途中3.11の大震災があるなど色々な出来事があったもののほほ思い通りのできあがりには満面の笑みで今年の正月を迎えた。「お母さんたち大丈夫?」と遠く福岡、沖縄県からエールを送ってくれた二人の娘さん達も年末に帰省し「すごい、あったか〜い、すてき」と大感激、これからは楽しみな家になったとますます笑みがこぼれる二人のリフォーム物語を紹介する。

(新住協事務局 会沢健二)

■さすがと感じたことがある。Tさんの勤務先は大手自動車部品工場で、生産技術兼生産企画が専門だった。最近はやま目にするのがなくなったように思うがQC活動(品質管理)という言葉がある。かつてはこの企業でもそれぞれの職場で色々な問題を取り上げ、それらを一つ一つつぶして作業効率を上げたり問題解決をしたり、盛んに行われたものだ。

リフォームを進めるに当たってそのQC手法を思い起こさせるメモがあるのだ。住宅の部位ごと場所ごとの問題点とこうしたいという形が細やかに書かれていて全部で35項目ある。表には「現状の我が家の不具合・使いづらい内容一覧」と題してあり、さらに、重要度ランク、データ、対策案の欄まである。いわゆる不具合リスト的なこの種の表を完成引き渡し前に作成し施工業者に出し、結果的に思わぬトラブルになるケースを聞くことがあるがそれとは本質的に違う。やるべきことを明確にして工事しようとい

2015.1訪問してきました私です



改修前 2011.8

現状の我が家の不具合・使いづらい内容一覧		
場所	不具合・使いづらい内容	重要度
1 玄関	玄関ドア	A
2 玄関	玄関の床	A
3 玄関	玄関の壁	A
4 玄関	玄関の天井	A
5 玄関	玄関の照明	A
6 玄関	玄関の換気	A
7 玄関	玄関の排水	A
8 玄関	玄関の収納	A
9 玄関	玄関の扉	A
10 玄関	玄関の窓	A
11 玄関	玄関の床	A
12 玄関	玄関の壁	A
13 玄関	玄関の天井	A
14 玄関	玄関の照明	A
15 玄関	玄関の換気	A
16 玄関	玄関の排水	A
17 玄関	玄関の収納	A
18 玄関	玄関の扉	A
19 玄関	玄関の窓	A
20 玄関	玄関の床	A
21 玄関	玄関の壁	A
22 玄関	玄関の天井	A
23 玄関	玄関の照明	A
24 玄関	玄関の換気	A
25 玄関	玄関の排水	A
26 玄関	玄関の収納	A
27 玄関	玄関の扉	A
28 玄関	玄関の窓	A
29 玄関	玄関の床	A
30 玄関	玄関の壁	A
31 玄関	玄関の天井	A
32 玄関	玄関の照明	A
33 玄関	玄関の換気	A
34 玄関	玄関の排水	A
35 玄関	玄関の収納	A

リフォームQCメモ 2011.2.25  
改善したい事項をきっちり確認



Tさんご夫妻。この日は若い工務店が、見学に来た。

うもので、その手法は極めて建設的、当然いい結果が生まれよう。さすが生産技術に就いてきた人だと感心する。

■リフォームQCメモの作成日は2011/2/25となっている。その週の初め、新聞で小会（新住協）のリフォームセミナーがあることを知ったTさんは、2/26宮城県民会館に向いて「断熱耐震改修セミナー」に出た。勿論リフォームの要点メモは頭に整理されている。そこで室蘭工大鎌田紀彦教授の断熱耐震改修理論をはじめ聴いた。話は専門的だったが、技術系のTさんにはそこがわかった。「この会にはたしか技術の裏付けがある。」と確信し、気持ちが大きく傾いたそうだ。それもそのはず、TさんのQCメモには「家の中が寒い」・重要度ランクA・データーには真冬の寒い日の室温が1℃〜3℃になると記されている。

■さらに、セミナーの翌日同市内で断熱リフォームの完成住宅見学会（その前月

完成のY邸）があるというので、妻のT子さんを誘って出かけた。午前10時、暖房はすでに1時間前に止まっていたというその家は、玄関を開けたときあつと驚くようなほわつとしたぬくもりがあった。また、偶然にもY奥さんはずっと以前職場の親しい先輩だったので、床や壁の仕上げや間取りの変更、台所や浴室など親切な説明をしてくれて話も弾んだ。けれども、「なんて暖かい家なんでしょう」とその時はそのことばかり頭にあつて他のことは覚えていないという。そしてその日、ほとんどその場で、リフォームはこの会社にお願しようかと心に決めたのだそうだ。こうして始まった断熱耐震改修工事は、この年の8月益明けに始まって約2.5ヶ月、11月初旬に完成したのである。

初めて迎えたこの冬、例年より冷え込みの厳しい日が続く中、家中暖かいというよりどこにいても寒くない、描いていたたとおりの暮らしが実現できて満足の

日々を送っているのである。しかも日中はほとんど暖房されないののである。それもこれもリフォームQCメモが大きな役割を果たしたといえよう。

■これより前、リフォームをしようかと思い始めた頃Tさん夫妻はリフォームで有名な「SS社」の現場見学会に行った。その後まもなくその会社の設計士がやって来ていわゆる営業攻勢が始まった。床下に潜り地盤の写真を撮って見せたり、天井裏を調べたり、リフォームプランまで出したり、圧倒されるほど積極的だったという。しかし、営業は成功しなかった。話の中で、「既存の家具や建具、キッチンキャビネットをリメイクしてできるだけ使いたい」というTさんの意に反して、「そういうものは買った方が安いですよ」と一蹴した態度に嫌悪を感じ、暖かい家になるという技術的な根拠も感じられなかったのだ。営業マンは田代さんが省エネ省CO<sub>2</sub>の理念を持っていると理解



夫唱婦随で断熱材を丁寧に施工



改修前のキッチン



改修後 2011.11

しなかったようだ。あの人は結局営業だけの人だったと振り返る。

■もつとも、それだけではなく予算の上でも出された金額と大きな隔たりがあった。当初、1000万円ぐらいの腹づもりでいたが営業マンが持ってきた金額は1600万円だった。しかもリフォームは1階のみで2階は入らないという。見学会に行ったときは、文字通り新築のようであんな家に住めるならと幾分かの憧れはあったけれど話を進める内にこれは違つと気持ちがだんだん離れてしまったという。

今回の工事費は結局1400万円を超えて、当初の思惑とその点では違つたけれども、希望通りの暖かさも実現し、上下水道の配管も新しくなって長期的にも安心できるし、耐震性能も根拠ある改修工事ができたのだから「Sさん」に出会つて新築そのものになったと思えばこれはこれでよかったと今では思っている。

■仲のいい夫婦である。失礼ながらこの年齢でこんなに仲良くいられるものかと感

心してしまう。新しい家になってどんな感じですか？と聞くと「実は妻の台所の孤独感を解消したかった」とTさんがいう。つまり、台所が離れていたの、作る人待つ人になってその時間どうしても

一体感が薄れてしまうというのだ。新しい間取りでは、台所とダイニング、リビングがほとんどワンルームになって、奥さんが台所に立っている時も、お互い顔を见ながら会話を楽しめる。一方Tさんは、「以前は冬になると寒いので、二人で一部屋だけで過ごすのが多かったのですが、今では、家全体が暖かいので私は2階で裁縫したり、夫はリビングでパターの練習したりと、活動空間が広がりました。信じられないことですが、家が暖かくなると心まで温かくなるような気がします。この感じは体感してもらわないと伝わらないでしょうね、私も初めての感覚です」とのコメント。

窓辺には出窓のようなスペースがあるので、どの窓にも趣味の置物が飾られている。暮らす人の豊かさのようなもの

を感じるのには部屋の暖かさだけではない。

■ところで、二人は断熱工事を手伝つたというより、率先して自分たちの家に断熱した。「鎌田先生の話にたしか技術の理論を感じた」Tさんだから、技術的な興味の本が動き出したのだろう。一階の断熱材はほとんど二人が施工したというのだから感心するしかない。

そのTさんがいう「工務店さんも、このような技術的裏付けが共有できれば、リフォームのレベルも上がると思います」と。

住宅業界は断熱リフォームとか断熱改修とか、言葉だけが先行してまだまだ実が伴っていないのが実態である。世界レベルで競つ自動車業界に携わってきた人が、断熱リフォームの一部始終を自ら体験して話す言葉を、我々は真摯に受け止めるべきだろう。

並の新築高断熱住宅よりはるかに優れた省エネで快適な家にリフォームした施主のTさん夫妻にリフォームのお手本！と心から賛辞を贈りたい。



1階のリビングから吹き抜ける通気口  
これによって2階に暖房器を設置しないで済む



1階はワンルームのような大きな空間  
真冬なのにこんなに広々のびのび



改修後の1F 2F平面図



壁 高性能グラスウール(袋入り)100mmを充填 貫通部コンセント部なども丁寧に気密処理

# 断熱耐震改修 施工概要



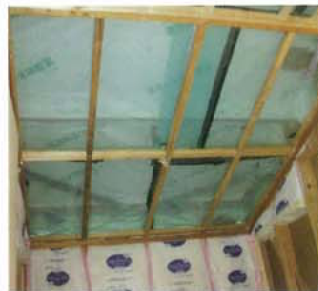
外部に高性能グラスウール100mm付加



耐震性能 基礎の鉄筋を確認 改修計画通りの耐震金物を入念に施工する



壁内上下の気流止め これがないと断熱材効果なし



天井は防湿気密層のため既存天井を剥がした。リフォーム時天井の気密は特に重視する



100mm付加断熱すると幅広い窓台ができる



外部施工 断熱材→防風透湿シート→通気層→外壁と仕上げられてゆく

## ■リフォームData

建設地 宮城県角田市  
 床面積 木造2F 111.79㎡  
 新築竣工 1985年  
 改修竣工 2011年11月  
 断熱性能 Q値 1.61W/K  
 気密性能 4.5C㎡(目張りなし閉じた状態)  
 耐震性能 一般診断法 1.26以上  
 暖房 電気熱源ヒートポンプ 温水パネル床下放熱式  
 給湯 エコキュート 台所 電気  
 換気 第3種換気方式  
 QPEXによる自然温度差 8.78℃  
 QPEXによる年間暖房用エネルギー消費量 1,412KWh 効率2.5(灯油404ℓ相当 効率85%)

## ■断熱仕様

天井 吹き込みグラスウール 300mm  
 壁 GW24K+HGW16K100mm付加断熱  
 基礎 ポリスチレンフォーム B3 75mm  
 開口部 窓 南面 PVC一般ペア+断熱戸  
 PVCTリップLow-E  
 玄関 等級H-5  
 天窓 VELUX開閉タイプ他1台